

三菱UFJ/メロン グローバルバランス

月次レポート

2019年
03月29日現在

追加型投信/内外/資産複合

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
- ・ベンチマークは、MSCI ワールド インデックス(円ヘッジベース)50%+FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ・円ベース)40%+FTSE世界マネー・マーケット・インデックス(日本円3カ月ユーロ預金)10%を合成した指数です。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.6%	9.9%	1.6%	6.1%	13.5%	74.8%
ベンチマーク	1.4%	6.8%	0.2%	3.6%	16.2%	78.9%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

■国・地域別配分

国・地域	株式	債券	通貨
アメリカ	18.9%	21.8%	32.4%
カナダ	0.0%	0.0%	0.2%
イギリス	15.4%	1.7%	-5.4%
ユーロ圏	11.8%	9.6%	-14.1%
ドイツ	3.3%	9.6%	-
オランダ	3.8%	0.0%	-
イタリア	4.7%	0.0%	-
スイス	0.0%	0.0%	-10.4%
スウェーデン	2.0%	0.0%	-0.7%
ノルウェー	0.0%	0.0%	8.1%
オーストラリア	0.0%	0.0%	-5.1%
ニュージーランド	0.0%	0.0%	8.4%
香港	0.0%	0.0%	0.9%
日本	8.9%	8.5%	85.9%
合計	57.0%	41.7%	100.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	12,712円
前月末比	-99円
純資産総額	10.78億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第21期	2019/03/18	300円
第20期	2018/03/16	0円
第19期	2017/03/16	450円
第18期	2016/03/16	0円
第17期	2015/03/16	500円
第16期	2014/03/17	250円
設定来累計		3,600円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■資産構成

	比率
実質株式	57.0%
内 現物	0.0%
内 先物	57.0%
実質債券	41.7%
内 現物	0.0%
内 先物	41.7%
コールローン他	1.4%

■現物株式組入上位10銘柄

組入銘柄数: 0銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1			
2			
3			
4			
5	株式の組入れはありません。		
6			
7			
8			
9			
10			

・日本株式は「東証33業種」、外国株式は「GICS(世界産業分類基準)」で表示しています。

■現物債券組入上位10銘柄

組入銘柄数: 0銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1					
2					
3					
4					
5	債券の組入れはありません。				
6					
7					
8					
9					
10					

■運用担当者コメント

3月のファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇し、ベンチマークに対してアウトパフォーマンスしました。ファンドのパフォーマンスがベンチマークを上回った要因は、ユーロをショートとした通貨別アロケーションなどがプラスに寄与したことによるものです。

株式、債券および短期金融資産のアロケーションについては、株式、短期金融資産を減らす一方、債券を増やしました。

株式の国別アロケーションについては、ドイツ、英国などを増やす一方、日本、米国などを減らしました。3月末は、英国、日本などをオーバーウェイトとする一方で、米国などをアンダーウェイトとしています。

債券の国別アロケーションについては、日本、米国などを増やしました。3月末は、ドイツ、米国などをオーバーウェイトとする一方で、フランスなどをアンダーウェイトとしています。

通貨別アロケーションに関しては、英ポンドをロングからショートとした一方で、ユーロ、スウェーデンクローナなどのショート幅を縮小し、米ドル、ニュージーランドドルなどのロング幅を拡大しました。3月末は、ユーロ、スイスフランなどをショートとし、米ドル、ニュージーランドドルなどをロングとしています。

引き続き、当ファンドではGTAAモデルを活用し信託財産の長期的成長をめざします。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■本資料で使用する指数について

- ・MSCIワールドインデックス(円ヘッジベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権及びその知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ・FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・FTSE世界マネー・マーケット・インデックス(日本円3か月ユーロ預金)は、FTSE Fixed Income LLCにより開発された、3か月満期の日本円ユーロ預金を用いて算出する日本円の短期金融市場のパフォーマンスを測定する指数です。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

三菱UFJ／メロン グローバルバランス

追加型投信／内外／資産複合

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融資産を主要投資対象とし、グローバルな資産運用を行うことにより、長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 投資収益の機会を広く世界に求めて、日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融資産に投資します。

・MSCIワールドインデックス(円ヘッジベース)50%+FTSE世界国債インデックス(円ヘッジ・円ベース)40%+FTSE世界マネー・マーケット・インデックス(日本円3か月ユーロ預金)10%を合成した指数をベンチマークとして運用を行います。

特色2 米国の資産運用会社メロン・インベストメンツ・コーポレーションの運用アドバイスに基づいて、三菱UFJ国際投信株式会社が運用を行います。

※2019年1月2日にBNYメロン・アセット・マネジメント・ノースアメリカ・コーポレーションからメロン・インベストメンツ・コーポレーションへ社名変更しました。

特色3 運用にあたっては、原則としてメロン・インベストメンツ・コーポレーションのGTAAモデルを活用し、株式、債券、短期金融資産についてのアセットアロケーション、カントリーアロケーションおよび為替ヘッジ比率を決定します。

■分配方針

・年1回の決算時(3月16日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	組入外貨建資産については、為替変動の影響を大きく受けます。
信用リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ／メロン グローバルバランス

追加型投信／内外／資産複合

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次に該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(1998年3月17日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年3月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率2.214%(税抜 年率2.05%)**をかけた額

その他の費用・手数料 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ/メロン グローバルバランス

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社足利銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社第四銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社南都銀行(※)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
株式会社三菱UFJ銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
株式会社山形銀行(※)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○